

WEEKLY BULLETIN  
**OSAKA  
 NAMBA**  
 大阪難波ロータリークラブ週報



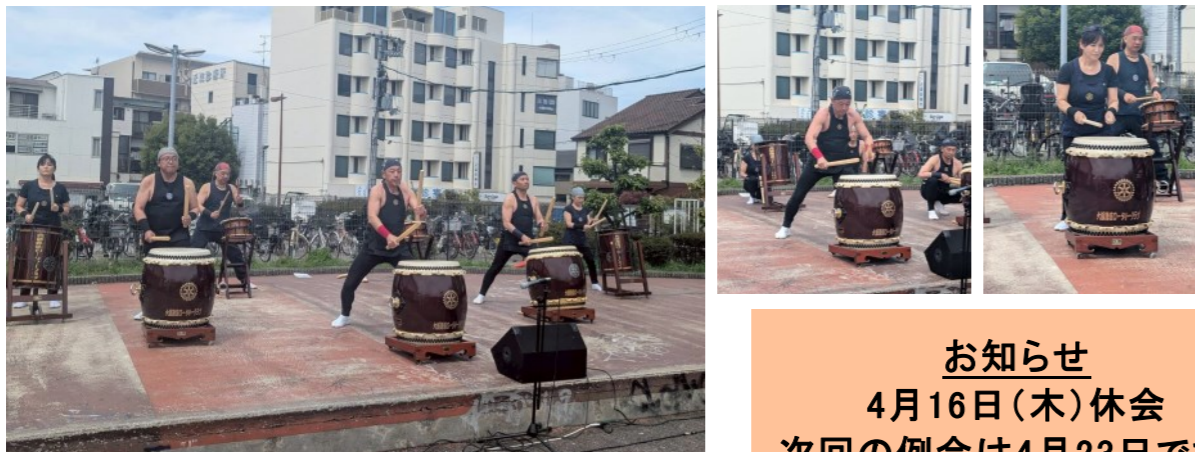
2025-2026年度 国際ロータリー会長  
 フランチェスコ・アレッツォ  
 会長メッセージ「よいことのために手を取りあおう」  
 (第2660地区ガバナー 吉川 健之)

4月度定例理事会議事録

1. 創立50周年記念式典について当日のスケジュールや役割が確認された。
2. 川浦会員、立花会員ご推薦の上拾石勲氏が入会候補者として承認された。
3. 中田慎介会員が転勤のため退会されることが承認された。
4. 5月28日(木)18時から「ロータリーを知りましょう会」が開催されることが承認された。
5. 前回の理事会で大阪難波RACに所属しているショドラ・ハナさんが台湾で開催される国際大会スピーチコンテストの出場権を獲得したため、大阪難波RCより予算が捻出されることが承認されたが、渡航費と宿泊費約10万円を領収書と引き換えにニコニコ予備費から拠出し、寄贈することが承認された。
6. 春のRYLAに参加するパパ・ママの登録料が必要な場合、ニコニコ予備費から捻出することが承認された。
7. 事務局経費について話し合われた。

## 和太鼓部活動報告

4月5日(日)西成で開催された「こども夢フェスタ」にて、和太鼓の演奏をさせていただきました。  
 西成こども食堂の子どもたちや地域の皆さまの前で、大阪難波ロータリークラブ和太鼓部として演奏を披露することができました。  
 初めて和太鼓を見る子どもたちの不思議そうな表情や、楽しそうに耳を傾けてくださる皆さまの姿がとても印象的でした。  
 また、天候にも恵まれ、最高のコンディションの中で演奏できたこと、そして多くの方に喜んでいただけたことを大変嬉しく思います。  
 文責：秋田祐作



**お知らせ**  
 4月16日(木)休会  
 次回の例会は4月23日です。

- これからの予定
- 4月11日(土) IM第4組ロータリーデー・フレッシュロータリアン研修交流会
  - 4月16日(木) **休会**
  - 4月23日(木) 例会
  - 4月24日(金) 第二回友好ゴルフコンペ
  - 4月30日(木) 例会
  - 5月7日(木) **休会**
  - 5月14日(木) 例会・新旧合同理事会

| 今日の卓話                           | 次回の卓話  | ロータリー4つのテスト  |
|---------------------------------|--|--|
| 4月10日(金)<br>創立50周年記念式典<br>及び祝賀会 | 4月23日(木)<br>テーマ<br>「これからのAI時代における<br>リスクとは何か？」<br>卓話者 株式会社VEXUM<br>荒井達也様<br>卓話担当者 田中浩弥会員 | 言行はこれに照らしてから<br>1. 真実かどうか<br>2. みんなに公平か<br>3. 好意と友情を深めるか<br>4. みんなのためになるかどうか |

第35回例会 本日のプログラム

- 開会 (点鐘) 通算第2311回例会
- ・三カ国国歌
  - ・ロータリーソング 「ROTARY」
  - ・歌 岡本優香さん
  - ・ピアノ 高山理帆さん
  - ・開会の辞 林 博之50周年実行委員長
  - ・物故会員への黙禱
  - ・会長挨拶 立花英司会長
  - ・来賓紹介 清水一人幹事
  - ・来賓祝辞 吉川健之ガバナー
  - ・来賓祝辞 釜山西北RC閔丙基会長
  - ・来賓祝辞 台中西南RC李世煌社長
  - ・来賓祝辞 内浦RC沖本好規会長
  - ・祝電披露
  - ・50周年記念事業披露・報告 林 博之50周年実行委員長
  - ・出席報告 河井美由紀出席率向上委員長
  - ・ニコニコ箱報告 松井 潤副SAA
  - ・閉会の辞 伴井敬司2022-23年度ガバナー補佐
- 閉会 (点鐘)  
 ~祝賀会プログラムへ~

♪ R-O-T-A-R-Y

R-O-T-A-R-Y, That spells Rotary.  
 ROTARY is known on land and sea.  
 From North to South,  
 From East to West,  
 He profits most who serves the best;  
 R-O-T-A-R-Y, that spells Rotary.

| ニコニコ箱報告 |                    |
|---------|--------------------|
| 前回の合計   | ¥123,000           |
| 本日までの累計 | ¥4,235,000 (98%達成) |
| 4月末の予算額 | ¥4,300,000         |

| 出席報告  |         |                                     |
|-------|---------|-------------------------------------|
|       | 前回 4月2日 | 3週前 3月12日                           |
| 会員総数  | 79名     | 出席免除を除く<br>MUを含む<br>修正出席率<br>77.33% |
| 出席会員数 | 55名     |                                     |
| 出席率   | 74%     |                                     |

大阪難波ロータリークラブ 例会日時 毎週木曜日 12:30  
 創立 1976年8月5日 例会場 スイスホテル南海大阪7階 芙蓉の間  
 会長：立花英司 幹事：清水一人 会報・雑誌委員長：大塚哲平 事務局：安部亜希子  
 事務局 〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60 スイスホテル南海大阪5階  
 TEL 06-6632-3956 FAX 06-6632-3957 e-mail osaka-namba@poem.ocn.ne.jp

# 4月は「環境月間」です

前回の記録 第34回 4月2日(木)

## ★来客紹介：吉光友好委員

ゲストスピーカー  
谷 紳一様



## ★会長報告：立花会長

1. 先週はACテーブル懇親会に参加させて頂きました。今年度は修正出席率80%を目標にしているのでEクラブの活用を河井委員長の方から説明があり特に新しいメンバーに共有して頂いたと思います。今期も残り3ヶ月になりましたが、メイクアップに行けない場合は是非Eクラブを活用していただいといますので、どうぞ皆さん宜しくお願ひ致します。
2. いよいよ来週は当クラブの創立50周年記念式典ですが、先週の土曜日に八尾ロータリークラブさんの創立65周年に清水幹事と出席してきました。八尾ロータリークラブさんは50周年の式典は東北の震災で中止になり、60周年はコロナで中止になったので、今年65周年の式典を行われたようです。歴史があるクラブで沢山の奉仕活動がされていて特に青少年奉仕に力をいれて来られた素晴らしいクラブだと感じました。立派な式典でしたが、当クラブも実行委員会の皆さんが大変ご苦労して準備して頂いていますので、素晴らしい式典になると思っていますので、来週皆さんどうぞよろしくお願ひいたします。
3. 最後にロータリーの一言をお伝えします。奉仕は大きな事をやるだけでは無いと思います。落ち込んでいる誰かに声をかける。疲れている人に席をゆずる。すでにそれが奉仕です。本日の一言は「小さな親切が奉仕の始まり」です。

## ★幹事報告：清水幹事

1. 本日例会終了後、定例理事会を開催させていただきますので、理事役員の方はご出席ください。
2. 来週4月9日は例会はありません。10日は創立50周年記念式典となりますので、

よろしくお願ひいたします。

3. 4月11日はIM第4組ロータリーデーとフレッシュロータリアン研修交流会が開催されます。申し込みされている方はご出席よろしくお願ひいたします。フレッシュロータリアン研修交流会へお申し込みされた方は、本日登録料8,000円を基金させていただきますので、よろしくお願ひいたします。
4. 緑の手帳を難波の交差点で落とされた方、事務局で預かっています。

## ★委員会報告

### ◇クラブ会報・雑誌委員会：大塚委員長

「ロータリーの友4月号のご紹介」

横P5-13 環境月間について

P23 ロータリーアットワーク

縦P12 ロータリー俳壇、ロータリー歌壇

P17 卓話の泉

### ◇50周年実行委員会：林委員長

当日のスケジュール報告

## ★ニコニコ箱報告：藤井副SAA

立花英司：来週、創立50周年記念式典、皆様よろしくお願ひいたします。

清水一人：先週八尾ロータリークラブ創立65周年に参加してきました。

林 博之：いよいよ来週4月10日は創立50周年記念式典、皆様ご協力よろしくお願ひいたします。早く終わってほしい。

松浦孝尚：ACテーブル懇親会、ありがとうございました。

久保幸一：ACテーブル懇親会、ありがとうございました。

網干康史：例会欠席お詫び。

早栗義文：心嬉しいこと！！

宮本倫明：本日は、大学時代の友人の卓話、ご清聴ありがとうございました。

川井宗次：例会欠席お詫び。

段 正峰：例会欠席お詫び。

秋田祐作：4月5日こどもフェスタ、和太鼓頑張ります。

岡野邦男：例会欠席お詫び。

上江ひとみ：お世話になっております。連続の例会欠席お詫び。

延生隆廣：例会欠席お詫び。

井原純平：例会欠席お詫び。

田邊雄一：連続で欠席しましてすみません。

樽井克哉：先週テーブル懇親会ありがとうございました。

奥村公一：テーブル懇親会ありがとうございました。とても楽しかったです。

河 宗啓：前回欠席して申し訳ありませんでした。

横井 彦：先週のテーブル懇親会ありがとうございました。

池上裕也：テーブル懇親会お疲れ様でした。楽しい時間をありがとうございました。

事務局安部亜希子：先週はお休みをいただきまして、誠にありがとうございました。

## ★大阪難波RACへのニコニコ箱報告

田邊雄一：例会よろしくお願ひします。  
累計¥305,000

## ★卓話

テーマ 「長時間、長距離飛行可能な国産ドローンの重要性」

卓話者 株式会社エアロロジーラボ  
谷 紳一様

卓話担当者 宮本倫明会員

もともと私は大阪大学歯学部を出て歯科医師をしていたのですが、ドローンを始めたきっかけは本当に単純で、空から景色を見てみたかった、それだけなんです。2009年にマルチローターを自作して、FPVで空を飛ぶ感覚を楽しんでいるうちに、これは趣味で終わるものではなく、社会の中で使える技術になるんじゃないかと思うようになりました。ただ、当時のドローンは15分ほどしか飛ばない。これでは社会実装は難しい。そこで、エンジンで発電しながら飛ぶハイブリッドドローンに取り組み、3時間以上飛べる機体をつくってきました。社会実装は、機体だけでは進みません。通信や運用の仕組みも必要ですから、ソフトバンクとは飛行プラットフォームの連携という形で進めていますし、国交省とは実証実験を重ねながら、実際に社会でどう使えるかを検証してきました。2018年の岡山県和気町での物流実証を皮切りに、千葉では災害時を想定した複数機の同時運航、福島では長時

間飛行と測量データ取得、NEXCOの実証ではインフラ監視を前提に106キロ飛行、宮崎では南海トラフ地震を想定して沿岸72キロを無着陸で飛ばしました。災害、インフラ、防衛の現場では、長時間・長距離で飛ぶことに大きな意味があります。災害は気候を選びませんから、寒冷地や雨天も含めた全天候型を目指しています。趣味から始まった技術ですが、日本製、純国産の工業製品として、社会や国土を守る力になっていければと思っています。

## 【質疑応答】

Q. バッテリー式とのコストの違いはありますか。(樽井会員)

A. 初期費用だけ見ると、ハイブリッドのほうが高いです。ただ、長く飛ばそうと思うと、バッテリー式は予備バッテリーがたくさん必要になりますし、交換も出てきます。その点、ハイブリッド式は燃料を入れればまた飛べる。基本的に用途が異なるという理解をしていただいたほうがよいのですが、長時間、高頻度で使う現場では、総コストが低下していきます。

Q. 自作機と製品の違いはどこにありますか。(樽井会員)

A. もともと中国の大手ドローン会社、DJIも私たちが自作から始まっていますが、今は製品として運用しています。型式認証を取ればより明確ですが、現時点でも必要な申請をして、安全性や運用体制を整えた上で飛ばしています。

Q. 全天候型のドローンを目指しているのですか。(河会員)

A. はい、そうです。災害は気候を選んでくれません。寒い時、雨の時、暑い時も含めて、必要な時にきちんと飛べる機体を目指しています。

